

11月12日は、いい皮ふの日

「いい皮ふ、を考えよう。」

おしゃれ障害とは

大人だってしてるやんっ!?
誰にも迷惑かけてないやんっ!?

おしゃれは楽しいものですが、難点もあります。それは、おしゃれをしたい部位が、顔、爪、髪の毛など、皮ふの一部だからです。おしゃれをすることで体に起きてしまうトラブルのことを、おしゃれ障害といいます。肌がヒリヒリするかぶれから、取り返しのつかない危険な障害まで、おしゃれ障害は様々です。

おしゃれをする時に、考えてほしいこと。

その1・TPO(時・場所・場合)について

TPO を考える、という言葉は、社会でよく使われます。

Time(タイム・時)、Place(プレイス・場所)、Occasion(オケーション・場合)を考えて、それにふさわしい服装などの使い分けをすることです。

例えば、結婚式では礼服やドレスを着たり、学校では制服を規則通りに着こなしたりすることです。

学校は勉強をする、【時、場所、場合】なので、化粧やカラー・パーマ、制服以外の服装は校則違反、TPO に合わない、ということになります。

カラーやパーマ剤について

- ・薬剤の成分で、頭皮がかぶれたり、アレルギーで皮ふが腫れたりすることがあります。
- ・髪も地肌も傷んで溶けてしまい、けがのようになってしまうことがあります。
- ・中学生には必要ありません。校則違反です。

カラーコンタクトレンズについて

- ・カラコンも化粧と同じ扱いです。学校につけてきてはいけません。
- ・レンズに色素が付いていることで、目の酸素不足が招くトラブルが多発しています。
- ・使う場合は、眼科を定期的を受診して、眼科で処方されたコンタクトレンズを購入しましょう。
- ・使用上の注意をしっかりと読んで、使用期限を守りましょう。

その2・特に中学生への悪影響について



皮ふは、体の臓器の中で、一番表面積が大きく、体をおおって、外界から身を守る役割を持っています。そして、年齢とともにだんだんと成長していくものですから、大人と子どもでは、皮ふの厚さ、体を守る仕組み、アレルギーや、菌に対抗する仕組みなども大きく違ってきます。

そのため、大人なら使える化粧品でも、子ども(中学生・高校生はまだ子どもの皮ふです。)は使えないということが多くあります。

そして、皮ふが未熟な子どものうちに無理をしたことで、大人になったら平気なはずのおしゃれまで、できなくなってしまうこともあるのです。

爪のケアについて

・甘皮ケアのやりすぎに注意

甘皮とは、爪の根元の薄い皮ふのことで、新しく生えてくる未完成のやわらかい爪が傷つかないように保護する役割があります。甘皮を取り除いた部分に溝ができ、菌が繁殖しやすくなります。

・除光液に注意

除光液の中のアセトンが発がん性があるため人体に有害です。鼻をつく独特のにおいが特徴で、皮ふに付いたり、においを吸い込んだりすることで体に取り込まれます。

・UV ライトの危険性

ジェルネイルを固める UV ライトの UV とは、紫外線のことです。紫外線は浴びるとシミになったり、皮ふがんの原因になったりする有害な光です。UV ライトの熱でやけどや爪が痛くなるというトラブルが起きています。

少年写真新聞社 おしゃれ障害より

自分をよく見えるようにする努力は、外見だけではありません。まずは、自分の中身と向き合ってみましょう。もし、あなたにコンプレックスがあったとしても、それだけにとらわれるのではなく、自分のいいところを探してほしいと思います。もしかすると、コンプレックスと思っているのはあなただけで、他の人からみるとチャームポイントかもしれません。それに、10代はなにもしなくても、健康な髪の毛とイキイキとした肌があります。健康なまま大人になるために、今の自分を大切にしてくださいね。